

●八王子市職員の能力開発

自	主	研	究	本市では、職員の自己啓発支援の一環として、市政を取り巻く課題などについて調査研究するグループ活動を支援しています。 八王子市総務部職員課人材育成担当
グ	ル	ー	プ	
活	動	紹	介	

地方分権が進展する中で、自治体自らが政策責任の主体となって、多様化する住民ニーズに応えていくことが求められています。このため、自治体職員に求められる能力・役割は変化しており、従来の公務員の枠にとらわれない柔軟な思考で、自ら課題を認識し、解決できる自立型の職員を育成していくことが自治体における重要な課題となっています。本市では、2001（平成 13）年に『人材育成基本方針』を定め、「人事制度」、「職場づくり」、「研修制度」を一体として、職員の育成に取り組んでいます。

ここで紹介する自主研究グループ活動への助成制度(※)は、研修制度の要の一つである自己啓発への支援です。この制度には、制度を設けて以来延べ 72 グループ 646 名の職員が参加してきました。ここ数年は、市の現状や課題を幅広く学ぼうという勉強会や、自らの業務を深く調査研究することで、業務への精通やスキルアップを図ろうとする活動も行われています。

2014（平成 26）年度は、これから紹介する 4 つのグループが活動を行いました。

グループ名	テーマ
スクールランチ	児童、生徒への食に関する授業等指導案、教材作成
生活文化・建築とまち研究会	まちを構成する要素（ひと・暮らし・文化）から、まちづくりについて考える
公共的建築研究会	市有施設及び市内公共施設等を含めた公共建築の可能性についての考察
基礎職務能力の向上を目指す会	自治体職員に求められる基礎職務能力の向上

(※) 自主研究グループ活動助成制度とは

市政の様々な課題について自主的に調査研究を行う 3 名以上の職員のグループ活動を支援し、自己啓発意欲の高揚や政策形成能力の向上を図ることなどを目的としています。助成の対象は、図書などの購入費や指導・助言者に対する謝礼などです。また、2005（平成 17）年度からは、都市政策アドバイザーから活動内容に対する助言を受けられるようになっています。

注）各グループの「メンバー紹介」に記載されている所属及び氏名は、2015（平成 27）年 3 月末時点のもので

スクールランチ

代表：八王子市学校教育部保健給食課 原 麻岐

●研究目的

私たちは、小中学校給食を担当する栄養士のグループです。日々の業務として、小中学校給食の献立作成や栄養管理のほか、児童・生徒に生涯健康に過ごすための知識を身に付けてもらうことを目的に食育にも携わり、そのための様々な資料を作成しています。メンバーの知識や経験、アイデアを活かし、作成した資料をより良いものに改善することを研究の目的として活動しました。

●研究内容

小学校給食におけるアレルギー対応の研究を行いました。この数年で学校給食でのアレルギー対応が強化され、八王子市でもアレルギー対応の手順が新しくなりました。市内各校において新しい対応が始まったところですが、安全に給食を提供するためにさらに工夫できることはあるか、現在の課題を今後どう解決できるかなどについて話し合いました。また、食物アレルギーに関する正しい情報を得るために、書籍等を用いての勉強会を行いました。



勉強会の様子

●代表者コメント

2年目の活動となりました。昨年度は業務に活かせる食育資料の作成を行いました。今年度は安全安心な学校給食を提供するために、学校給食現場で新たに始まったアレルギー対応についての現状把握と勉強会を行いました。話し合いを重ねていくうちに現状への理解が深まり、今後の課題が見えてきました。状況や事情の異なる現場で同じ手順書を使うことの難しさに直面し、学校栄養職員はアレルギー疾患についてもっと勉強する必要があること、また、学校という大量調理の現場で安全性を確保するためにはどうすべきかについて、全員がさらに深く理解する必要があることを実感した一年でした。今後はこの課題を解決できるよう業務に取り組み、より安全な対応へとつなげていきたいと思っています。

●メンバー紹介

所 属	氏 名	所 属	氏 名
いずみの森小中学校	安齊 祥江	保健給食課	原 麻岐
七国小学校	田口 美保		

生活と文化・建築とまち研究会

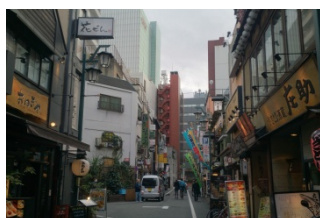
代表：八王子市財務部建築課 橋本 英章

●研究目的

まちを構成する要素（ひと・暮らし・文化）から、まちづくりについて考える。常ににぎわいのあるまち、行ってみたくなるまちがある。そこには何があり、なぜ人を惹きつけやまないのか。その理由はどこにあるのか。そこで、まちを構成する要素（ひと・暮らし・文化）から、そのわけについて考え、探ってみようと考えました。本市の状況や注目すべきまちとの比較を含め、そのまちが持つ魅力やそこに暮らす人々、文化や活動などに焦点をあて、賑わいの要素について探ることで、わが街八王子のまちの魅力の向上や、商業地域の活性化において参考になることを再発見することを目的に活動しました。

●活動内容

月例勉強会を開催し、賑わいのあるまちの話題や魅力について考えるディスカッションを重ねました。メンバー各自が持ち寄った関心のある話題や書籍を採り上げ、まちづくりに関する情報交換を行いました。また、メンバーが外部のワークショップに参加した際に得た知識や情報を研究会の勉強会へフィードバックし、新たな視点や知識を得る機会を設け、メンバーの知験の幅を拓げるとともに、実際に魅力のあるまちへ出掛けるフィールドワークを実施しました。



●代表者より

絶えずにぎわい、行ってみたくなるまちには、人を惹きつけてやまない理由があるとすれば、まちの魅力＝まちのコンテンツであると捉えました。そこで、まちを構成する要素（ひと・暮らし・文化）を手掛かりに、まちの魅力を探ってみようと考えました。

まちには、そこに暮らす人々の日々の生活があり、活動や文化、歴史などの背景があります。それらを含む、賑わいの要素を探ることで、わが街八王子のまちの魅力の再発見や、地域の活性化につながるヒントが得られるのではないかという思いを持ち、活動しています。

●メンバー紹介

所 属	氏 名	所 属	氏 名
建築課	橋本 英章	スポーツ施設管理課	井上 高臣
まちなみ景観課	高塚 里美		

公共的建築研究会

代表：八王子市まちなみ整備部建築審査課 五明 信一

●研究目的

私たちのグループは、これからの公共的建築に求められるものは何か、また現存する市有施設及び公共施設等を含めた公共的建築の可能性をどうとらえるべきか、事例を踏まえ、そのプログラムや成立過程について考察・研究することで、今後の職務に活かすことを研究の目的とします。

●研究内容

広く公共建築及びそれに類する建築を対象として、注目すべき建築の事例を取り上げ、考察します。昨年度は、建築の老朽化とそれらに対応する様々な手法や可能性について、こうした分野を得意とする建築家を取り上げて、その事例を研究しました。

本年度は、財政難や少子高齢化といった、今までに経験したことのない社会システムの変革期に直面している現況を踏まえ、公共建築に新たな風を吹き込む建築にスポットをあて、注目すべき建築（事例）を取り上げ、それらが担う使命や役割を調査し、将来に向けたこの建築の役割や具体的なプログラムを探究するとともに、建築の成立過程（市民ニーズ等の反映、基本構想策定及び企画等）について考察しました。特にコンペ等やプロポーザルに始まり、実際の実施計画、工事着工にいたるまでのさまざまな問題の検証に重点をおき、勉強会ではレジュメを基に進行し、課題図書の内容を中心にフリーディスカッションを行いました。

課題図書		
コンペに勝つ	山本理顕ほか	
GA JAPAN 131 号 特集「PLOT 設計のフロンティア」		GA JAPAN
小さな建築	富田玲子	みすず書房

●代表者コメント

高度成長期から 50 年以上が経過し、全国の自治体で、公共施設の維持管理を継続するか、建て替えかという問題に直面しています。しかもいまだに、箱ものといわれるハードだけに注目が集まり、完成後は一時的にぎわっても、その後は閑散とした、にぎわいのない建築も目につきます。少子高齢化という時代において、いかに賑わいのあるまちなみを形成できるかが課題となっており、建築が担う役割は、ハードよりもさらにソフトを重視した、人と人を結び付ける触媒的な要素が要求されているように感じます。それには既成概念にとらわれず、役所意識を破壊するダイナミックなパワーが設計する側には求められているのではないのでしょうか。そのあたりを探り、公共建築の未来と可能性に光をあて、認識を変えていけたらと考えています。

●メンバー紹介

所 属	氏 名	所 属	氏 名
建築審査課	五明 信一	資産税課	上原 洋八
建築指導課	露崎 拓		

基礎職務能力の向上を目指す会

代表：八王子市道路交通部管理課 辻 誠一郎

●研究目的

私たちのグループは、地方自治の諸分野に関する知識、文献・資料を的確に要約する能力、所定の条件で分かりやすくプレゼンテーションする能力、文献・資料及び他者の意見に対して的確にコメントする能力の4点を基礎的な職務能力として定め、これらの能力の向上をはかり、政策形成や業務改善等の実務へ生かすことを研究の目的としています。

●研究内容

勉強会は毎年4～5回程度の開催で、主に地方自治に関連した課題図書1冊を事前に精読し、レジュメをA4表裏1枚以内で作成します。当日はレジュメを基に5分程度で発表し、フリーディスカッションを行っています。勉強会には、参加を希望した職員のほか、座長とアドバイザーを置いており、座長には公益財団法人日本都市センターの元主任研究員中西規之氏に、アドバイザーには総合経営部の木内部長に就任いただいています。さらに今年度は、10月に聖学院大学特任講師の鈴木潔氏を、1月に財団法人地域開発研究所主任研究員の牧瀬稔氏をゲストにお招きするなど、より活発な意見交換と市役所内外の人脈の構築を図りました。

開催日	課題図書及び講師	参加者数
平成26年 9月12日	『藻谷浩介対話集 しなやかな日本列島のつくりかた』 藻谷浩介 新潮社	11
10月10日	『みんなが幸せになるための公務員の働き方』 嶋田暁文 学芸出版社 【講師】聖学院大学政治経済学部コミュニティ政策学科 特任講師 鈴木 潔氏	10
11月14日	『市民自治』 福嶋浩彦 ディスカヴァー携書	7
平成27年 1月16日	課題図書なし(講師による事前課題提示) 【講師】財団法人地域開発研究所主任研究員 牧瀬稔氏	8

●代表者コメント

当会の活動は約10年が経過しましたが、毎年、多くの職員から参加の意思表示があります。2014(平成26)年度は、新規採用職員を含む5人の新規参加職員を迎えることができました。

また、今年度から、各メンバーの発表に対するフィードバックやより活発な意見交換ができるような進行など、新たな取り組みも始めています。

●メンバー紹介

所 属	氏 名	所 属	氏 名
管理課	辻 誠一郎	住民税課	村石 雅紀
スポーツ振興課	立川 寛之	成人健診課	杉山 浩一
保育対策課	高野 芳崇	市民課	荻田 佳苗
ごみ減量対策課	小杉 浩文	法制課	岩田 恵梨
介護保険課	元木 博	経営管理課	馬場 奈那子
障害者福祉課	清水 雅生	水環境整備課	平澤 俊太郎
施設管理課	最上 和人	管理課	小俣 亮輔
都市戦略課付	柳沢 盛仁		